

# 様式 1

## 学力向上に向けた取組事例（R元）

事務所名	鹿行	学校名 市町村名	神栖市立横瀬小学校	TEL	0299-96-7494
------	----	-------------	-----------	-----	--------------

### 課題

見方・考え方を働かせた深い学びに到達してない



### 改善方法

授業のねらいの焦点化・可視化

### 1 昨年度までの課題

- ・授業スタイルを実践しようという意識が強いため、指導計画の時数を超えてしまうことがある。
- ・グループワーク・クラスワークで、深まりのある授業にならないことがある。
- ・条件に合わせて、記述する力が十分身に付いていない。
- ・授業アイデア例などを活用する時間の確保が難しい。

### 2 取組のキーワード

- 授業のねらいの焦点化・可視化，学び合い活動，教師の効果的な発問
- 授業スタイルの共有と自校授業スタイルの確立

### 3 具体的な実践

#### (1) 神栖市授業スタイルの定着と自校化

授業スタイルの確認を年度初めに校内研修で確認し、各授業における〈つかむ→考える→深める→確かめる・振り返る〉という流れが定着している。新任の教員でも、共通理解が図れるように、校内研修における相互授業参観を行い、研究協議を重ねている。一人一授業として、授業公開に向けたプレ授業を行ったり、市内の学力向上プロジェクトの授業公開を参観したりすることで、自校の授業スタイルの確立とともに、他校の実践を基にした授業スタイルのさらなる深化を追究し、職員の意識の向上につなげている。

#### (2) 継続的な指導の実践

新たな自校の授業スタイルを実践すると同時に、従来からの学力向上への取組の継続も進めている。特に、朝のドリルタイムを活用し、漢字ドリルや計算ドリルの確実な実施と、理解不足の児童への補充を行っている。

#### (3) 学習習慣の定着と個に応じた指導

朝のドリルタイムや自主学習ノート展を行うことにより、学習への意欲の向上と学習習慣の定着に努めた。また、4～6学年の算数の指導においては、少人数指導や個に応じた指導を進め、基礎基本の定着につながる手立てを行っている。学びの広場や、全国学力・学習状況調査、茨城県学力診断のためのテストの取組では、学習指導補助員を効果的に活用している。

### 4 成果について

- 全国学力・学習状況調査では、平成31年度は国語と算数ともに全国平均を上回り、国語は+11.5、算数は+2.2となった。
- 学校生活への満足度の向上として、意識調査では「授業が分かりやすい」と答えている児童は95%を上回る結果となった。
- 家庭学習の取組について、実態調査では90%程の児童が習慣化しているという結果となった。